

熊本地震に関する「IRIDeS 現地査報告会(第4回)」を開催しました(2016/5/16)

テーマ：災害調査、2016年熊本地震

報告会 URL：<http://irides.tohoku.ac.jp/event/2016kumamotoeq.html>

災害科学国際研究所では、平成28年(2016年)熊本地震と同地震による災害について調査などを進めています。5月16日(月)13:00より「IRIDeS 現地調査報告会(第4回)」を開催し、報道関係者・所内外の研究者など約60名が参加しました。当日のプログラムは、以下のとおりです。(下線が発表者)

<調査報告>

① 阿蘇・大分への社会的影響

奥村誠 教授(副所長、人間・社会対応研究部門 被災地支援研究分野)、久利美和 講師・杉安和也 助教(リーディング大学院)

② 地盤・社会インフラ被害調査

寺田賢二郎 教授・森口周二 准教授(地域・都市再生研究部門 地域安全工学研究分野)

③ 活断層調査(継続)

遠田晋次 教授(災害理学研究部門 国際巨大災害研究分野)、岡田真介 助教(災害理学研究部門 地盤災害研究分野)、石村大輔 助教(首都大学東京、元災害研助教)

また発表後には質疑応答のほか、以下の内容について、それぞれコメントがありました。

- ① 仮設住宅の整備について(岩田司教授 地域・都市再生研究部門)
- ② BCPについて(丸谷浩明教授 人間・社会対応研究部門)
- ③ 震災後の火災の発生について(五十子幸樹教授 災害リスク研究部門)
- ④ 医療支援について(江川新一教授 災害医学研究部門)

平成28年(2016年)熊本地震に関する特設ページ

http://irides.tohoku.ac.jp/topics_disaster/2016kumamoto-eq.html

報告会のページ

<http://irides.tohoku.ac.jp/event/2016kumamotoeq.html>



奥村教授



森口准教授



遠田教授



今村所長(司会)



会場の様子

文責：鈴木通江(広報室)